

学校運営委員会だより

今回の参加者（敬称略）

来校：上野、細川 オンライン：酒井、中野、草開 職員：毛利校長、松下副校長、村上主幹教諭

学校運営委員長より

みなさまお集まりいただきありがとうございます。決議事項がある際は多くの委員のみなさまに確認を取っていきたいと思いますので、ご協力のほどよろしくお願ひいたします。

第1回から少し時間がたちましたが、大きな行事として運動会がありました。雨天延期の連絡が金曜日の午前に来ましたが迅速で助かりました。学習活動や行事等の報告を、よろしくお願ひいたします。

校長より

ご多用のところ、ご参加ありがとうございます。本日保護者会があり、おかげさまで1学期終業が目前です。運動会での成長や2年生の職場体験準備や3年生の修学旅行催行など、各学年教育活動を進めています。

今年度は、「非認知能力の育成」の研究指定校となっています。主体性、セルフコントロール力などを意図的に育成していきます。用賀中だよりに掲載もしていますマンスリーキャリアシートも活用し、可能性を引き出す、特色ある教育活動を進めていきたいと考えています。

運動会は、順延ののち、暑い火曜日の開催となりました。のちほど話題にします。

報告事項

教育活動の大きな変更はありません。運動会、予備日に開催できてよかったです。一番暑い日でした。来年度も、この辺りの日程で行いたいと考えています。

6月、多様な進路を考える合同説明会を開催しました。学校公開も行い、学び舎の会もありました。中1見守りプランを行い、小学校教諭からの情報提供を得ました。

9/1は、集団下校訓練を予定しています。

協議事項（□学校 ○委員）

□運動会などを通して、自覚の喚起をマンスリーキャリアシートで行っています。教師がコメントし、自分の気づきとフィードバックとが一枚にまとめます。研究の一部として、毎月行っています。

□保護者の感想（運動会）は、用賀中だより6月号より掲載しています。地域の皆様の助けが大きかったです。ありがとうございます。金曜午前での延期判断で、土曜を「授業」に、の舵きりを早々にでき、効果がありました。

□運動会の時間は、今後短くする方向性です。午前開催や、午後少しだけという案も考えています。日程、プログラム、基本は学校に裁量があると考えていますが、皆様の声をいただきたいと思います。懸念点の一つは体調面、1年生を特に心配しています。そのため、教室で競技を見る工夫も行いました。

○前例踏襲でなく、現状に即して柔軟に対応をし、トライアンドエラーで戻す場合もあるかもしれないが、それも含めてお任せしようと思っています。

□運動会は昔より短くなっているが、競技を減らしていくことも考えています。5月中旬、集団形成にも負担がないよう、入学してから間もない1年生への配慮と同時に、3年生にとっても充実した運動会になるよう運営したいと考えています。競技を減らす案として、短距離走、障害物走、二人三脚などの個人種目を少なくして、学年種目を増やす、などができるようと考えています。

○運動会に関して、基本的に運動会を教育活動の中でどう位置づけるか、どう生かすかが大切であり、運営方法は学校に一任したいと考えています。土曜日開催、保護者の参観と、教員の働き方も考慮する必要があると思います。

(その他の話題として、生成AIについてや、エアコンの効きが悪いため遮熱シートや大きなエアコンを今後つけていく予定であり、R8かR9に行う施設改善の話題も出されました。)

地域運営学校を支える仕組みの考え方について

□令和8年度から新しい運営方法を行ってく見通しです。「考え方」として、1から10まで提示されています。P.3「あらたな仕組みのイメージ（図・仮称「学校運営協議会」）について説明します。

□人数：学校の裁量で、教育委員会は4～5名と考え、「学校防災チーム」などを設置する方向です。各チームに学校業務の一部を担っていただくが、簡単に下部組織化できるかという懸念もあります。

○学校支援コーディネーターは、有償で会計年度任用職員を任用ということですが、適任者を見つけるのが難しいのではないかという懸念もあります。

○地域における人的リソースは極めて限られるため、学び舎で協議しながら進めることが肝要です。これらも含め、「走りながら考える」の姿勢を大切にしたいと考えています。

体育着の変更案と、体育館履きと上履きの統合案

□物価高騰のため、令和8年度にはジャージ上の価格が税込み5720円から6160円に上がる見通しのため、メーカーとデザインを変えることも一案として検討しています。

□用賀の地区にとって、生徒の服装は町のシンボルなので、簡単には変えられないが、例えば、軽量化したジャージにする、密度の高い生地にする、透けない白い薄いシャツにするなど、改善を前向きに捉えられるよう丁寧に保護者・地域に確認や周知をしていただきたいと考えています。

□体育着に名前、以前はつけていましたが、今は、個人情報保護の観点で「見せたまま」は難しい。販売業者に照会したところ、マジックテープで脱着可能なタイプもあるというので、名前を呼ぶことでのコミュニケーションをメリットと捉え、検討していきたいと学校は考えています。

□現在は、校舎内は基本的に上履き、体育館に行くときに体育館履きに履き替えるというルールにしていますが、その「履き分け」の必要を考えた際、「室内は体育館履きのみ」という案も上がっています。またデザインが現行とは異なりますが、かかとを踏むことを防ぐ設計のものもあるため、販売社からサンプルが送られています。こちらも教育的効果を踏まえながら、地域や保護者の皆様に諮っていきたいと考えています。

□検討の際は入札となるが、価格と機能が両立するよう要望は出していく。

校則検討会について（学習端末）

○学習端末に関するルールは、今後も長く付き合っていくものなので、大切なものです。学習端末なので学習のために、が、原則です。そのため、学習外の使用についてルールを明確にする必要があり、誤った使用は、その都度注意が必要であると考えます。「学習のために貸している」が原則のため、繰り返し指導していく必要があると考えます。

○検討会実施要領（案2）において、参加者（予定）は生徒と学校が主軸であり、保護者と学校運営委員会はオブザーバー的な存在と考えます。校則検討会の内容を運営委員会に報告いただければ、気づいた点など助言することができます。

提案

○学校運営委員会メンバーが刷新されたため、意見交換できる場を設けられればと考えています。委員長から学校、学校から委員や学び舎へ発信を依頼しています。8/29を予定しています。

最後に

学校運営委員会は、学校と地域、保護者、卒業生が連携し、よりよい学校づくりを推進していくための大切な場です。用賀中学校は、今後も『地域とともに歩む学校』を目指し、皆様とともに生徒の育成に取り組んでまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。